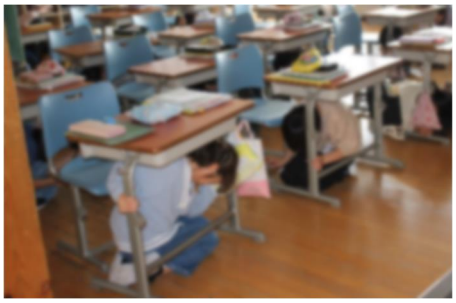
西明寺小学校 学校報

150周年 かたくり

令和7年度
第13号
5月27日

学校教育目標　夢ふくらませ　心かがやく　～ えがおさいこう ～

避難訓練・全市一斉引渡訓練　～みんなの命を守るために～



42年前に発生した日本海中部地震を教訓にするために設定された「県民防災の日」である昨日、「多くの人が恐怖を覚えるような揺れ。棚にあるものが落ちる。不安定な家具などは倒れる。道路に被害が出ることもある。」というような秋田県内陸南部を震源とするM6.0という大地震を想定して、避難訓練と全市一斉引渡訓練を実施しました。

避難訓練では、子どもたちは「お・は・し・も」→「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」の鉄則をしっかり心に入れ、真剣な態度で避難できました。放送の合図からグラウンドに避難するまでにかかった時間は2分30秒。すばやい行動もできました。それから引渡訓練に移りました。本校では、昨年の振り返りを生かし、保護者の皆さんに1・2階の各教室を回ってもらいながら引き渡すやり方から、全校のみんなを1階ホールに集めて待機させ、引き渡すやり方にしました。ご協力のおかげで、午後4時には全員無事に引渡を完了することができました。

調べたところ、東京ディズニーリゾートでは、様々な場所で最悪を想定した訓練を年間180回も行っています。だからこそあの東日本大震災において、液状化現象などにより駐車場やパーク内に水が溢れてきても、パニックになりそうな約7万人いた来場者全員が、一人の負傷者も出すことなく無事に避難できたと言われています。現在も「10万人の来場者が無事で安全であること」を目指して日々訓練を行っているそうです。東京ドームシティーでは年間550回という情報もありました。学校も子どもたちの安全を確保する責任を痛感します。

訓練終了後、下にあるような貴重なご意見もいただきました。訓練へのご理解・ご協力に感謝します。ありがとうございました。

〈保護者の皆さんから〉Google フォームより

地震の際に靴を脱ぐのは、瓦礫やガラス片等が散乱している事も考えられるため危険では無いでしょうか？また、余震、本震が続いている中で児童に靴の履き替えをさせるのも現実的では無いと思います。訓練であっても、実際と同じ流れをしておかなければ、本番では役に立ちません。

学校周辺の道路の陥没、隆起、その他保護者が動けない場合はどうするのかも明確にしておくべきではないでしょうか？

「訓練であっても実際と同じ流れで･･･」は、まさにその通りで、靴の履き替えは必要ありません。すぐにマニュアルの変更をします。また、周辺の道路状況、保護者の皆さんの様々な事情などについては、学校として基本になることを検討し、後ほどお伝えしたいと思います。

貴重なご意見ありがとうございました。

くりっこたちの活躍紹介　がんばった！おめでとう！

〇第３８回北浦杯争奪ミニバスケットボール大会女子の部　５月２４日
　優勝　中仙ミラーズ　（６年　Ｕ．Ｙさん所属）
　　☆Ｕ．Ｙさんはこの大会で最優秀選手賞を受賞しました。

〇第４９回県南小中学校県道大会　小学校団体の部　５月２４日
　優勝　有隣館角館道場　（６年　Ｉ．Ｏさん所属）